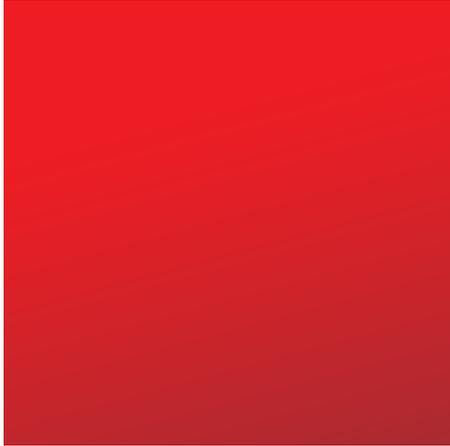


We Craft Your Imagination.



第5期 第2四半期 株主通信

2019年1月1日~6月30日

BUSINESS REPORT





日本創発グループは お客さまの創造性をカタチにする 「サポート企業集団」として これからも成長を続けます

2019年9月

代表取締役社長 藤田 一郎

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、株式会社日本創発グループ第5期第2四半期(2019年1月1日から2019年6月30日)の事業の概要につきましてご報告申し上げます。

当社企業グループは、クリエイティブサービスを事業とし、お客さまが創造性(クリエイティブ)を表現するために必要とする多様なソリューションを提供するため、「クリエイティブをサポートする企業集団」として、幅広いビジネスを積極的に展開、推進しています。

当第2四半期連結累計期間におきましては、2月にイベント等のスペースプランニングを設計から製作・施工まで行っている株式会社ササオジーエスを子会社に、また4月には浜松に本社を構え、東海地区を中心に総合印刷、広告代理業を行っている株式会社アプライズの100%持株会社、株式会社APホールディングスを持分法適用関連会社に、さらに香川県高松市でタペストリーや旗、のぼり、幕などの一括製造を行っている株式会社スマイルを連結対象子会社といたしました。これら会社が当社グループに加わることで、お客さまの幅広いニーズに対し、より高度で、かつ高品質なサービスでお応えすることが可能となり、また新たなシナジー

効果創出につながるものと確信しております。今後もめまぐるしく変化する経営環境に対応するための有効な手段としてM&Aを活用してまいります。

当社グループは、特色ある事業を行う企業が専門とする技術およびノウハウと、最新設備を備えたグループインフラを活用し、さまざまなクリエイティブニーズを確かなカタチとして提供しています。当期におきましても、グループ各社が各々の専門分野において積極的経営に取り組む一方で、グループ間の連携、支援体制を整え、ソリューション営業を行ってまいります。

当社は、事業活動を通して得られたキャッシュフローを原資とし、配当金と自社株式の買付けを含め、株主のみなさまに還元することを意識しております。当第2四半期連結累計期間は76,200株約62百万円の自社株の買付けを行いました。

今後もお客さまにとって必要不可欠な企業集団として、クリエイティブサービス事業を軸にビジネス展開を積極的に推進し、株主のみなさまのご期待に応えるべく努力してまいります。みなさまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

売上高

26,861百万円

前年同期比 +11.5%

営業利益

1,226百万円

前年同期比 +82.7%

経常利益

1,392百万円

前年同期比 +82.0%

EBITDA

2,335百万円

前年同期比 +28.4%

親会社株主に
帰属する当期純利益

825百万円

前年同期比 +39.6%

※EBITDA=経常利益+減価償却費+のれんの償却額+金融費用

技術を駆使して、心を動かすクリエイティブを提供するグループへ。

私たちのビジョンは「We Craft Your Imagination.」。お客さまの思いをカタチにするお手伝いをする事です。

私たちは多様なリソースと先進技術を駆使して、喜びや感動、そして共感を生み出す表現力を磨き、お客さまに心から満足していただけるソリューションを持つことで、日本で唯一のクリエイティブを創造する企業グループとなることを目指しています。

商材・ソリューションの強化拡大、シナジー効果創出

当社グループはめまぐるしく変化する経営環境と多様化するお客さまのニーズに対応するため、M&Aを含めた商材の拡大、ソリューションの強化に積極的に取り組んでいます。

当社グループの中核である印刷・製造事業を例にとると、印刷対象となる素材は紙以外にもさまざまであり、その素材、加工ごとに固有の製造工程を必要とします。そこで当社グループでは独自の専門技術、設備を持つ企業が協力しあうことにより、多種多様な製品をグループ内で一括製造することを可能としています。

これからも各社の商材・ソリューションを拡充させるとともに、グループ全体での内製能力を向上させ、シナジー効果の創出により、付加価値の高い製品とサービスの提供に努めていくことでお客さまのご要望にお応えしてまいります。

機能統合は次のステップへ

私たちは得意分野を有する企業同士が積極的に連携するために製造拠点を整備し、生産性の向上と高い品質を実現させてきました。デジタルコンテンツ分野においても、アプリケーションなどの共有と、情報インフラの共用により、新規技術の共同開発が可能となり、開発費用の低減を実現してまいりました。

そして、次のステップとして掲げるのは、グループ内企業が互いの事業分野の枠を超えてお客さまのニーズにお応えするワンストップソリューションをさらに拡大させることです。私たちはそのための環境と体制づくりに努めてまいります。

デジタル技術、デジタルコンテンツのさらなる活用

3DやAR、VRといったデジタル技術は、製品や建造物、状況などのデータを可視化し、直感的に伝えることを可能とします。また、データをさまざまなソリューションと連携させることで、セールスプロモーション分野におけるデータ解析にも活用できます。当社グループにおいては東京23区の地形、道路、建物の計測情報を元にフルテクスチャ化した「REAL 3D MAP TOKYO」や、それを発展させた「REAL 3D MAP TOKYO 夜景」は、プロモーション用途以外でも映画、TVなどにもご利用が広がっており、今秋には大阪版のリリースも予定されています。また、カプセルトイの販売機に顔認証技術を組み合わせたSmileガチャ、QRコードやバーコード決済を可能としたスマートPAYガチャの開発など、当社グループの持つリソースを積極的に活かし、新しいソリューションの創出に努めています。

人材育成および人的資源の最大活用

企業の成長、発展は社員ひとりひとりの成長なくして実現できません。当社グループは2018年より退職金制度や、持株会などの制度統一に着手しました。これらは社員がグループの一員としてさまざまな価値観を共有し、また、人的交流を容易にすることで、より広い視野の獲得に繋げることを狙いとしています。さらに、出産、育児や介護など、ライフサイクルにおける環境の変化に対しても、柔軟な働き方の提示をすることが可能になります。社員が生きがいを感じながら働くことができ、家族の方々とも一緒に歩んでいける、そんな企業を目指してまいります。

ソニックジャムと マイクログローブが合併

Webマーケティングを手掛ける**マイクログローブ**とデジタル・クリエイティブ・プロダクションである**ソニックジャム**が合併しました。両社の持つデジタル技術を融合することにより、新しい体験、さまざまなアプローチをご提案していきます。

[] SONICJAM microglobe



「REAL 3DMAP TOKYO夜景」が VFX-JAPANアワード2019優秀賞受賞

一般社団法人 VFX-JAPANが主催するVFX-JAPANアワード2019において、**キャドセンター**の保有する3次元都市データ「REAL 3DMAP TOKYO夜景」が先導的視覚効果部門の優秀賞を受賞しました。同アワードは主に映像作品が対象となり、プロダクトとしては「REAL 3DMAP TOKYO夜景」が唯一の受賞となっています。



2019

1月

2月

3月

ササオジーエスを 子会社化

株式会社ササオジーエス(東京都江東区)
非連結子会社 (議決権比率100%)

空間ディスプレイを得意分野とし、**施工業者**としての免許を活かし、設計から施工までをワンストップで対応することが可能です。



施工事例

「スマイル！ガチャ」インターナショナル プレミアム・インセンティブショー出展

あみューズと**ソニックジャム**の共同で設立された「Techガチャ研究所」により開発された「スマイル！ガチャ」を東京ビッグサイトで開催されたインターナショナル

プレミアム・インセンティブショーに出展しました。

世界初の顔認証システムによるガチャガチャマシーンは会場で注目を集めました。



アプライズと 資本業務提携

A P R I S E

株式会社 アプライズ

株式会社アプライズ(静岡県浜松市)
持分法対象関連会社 (議決権比率37.5%)

浜松に本社をおき、東海・中部地方を中心に5拠点で事業展開をしています。自社メディアを活用した広告代理業、出版事業、WEB事業と幅広い事業分野をカバーしており、アプライズを含めたグループの地域拠点として、互いに物流の効率化、内製率の向上



に大きく貢献するものと期待しています。



「芝サンプルパーク」が完成

日本創発グループのメーカー・OEM事業および印刷・製造事業の各企業が得意とするさまざまな製品やソリューションを一堂に集めたショールームが、東京都港区の芝アネックスビルにオープンしました。

当社グループの多種多様な製品、ソリューションをまとめて見学することができる、テーマパークのような空間となっています。



4月

5月

6月

スマイルを子会社化

株式会社スマイル(香川県高松市)
連結対象子会社 (議決権比率100%)

SMILE FLAG

株式会社スマイル



1959年に染物屋として創業し、染色加工技術をベースにシルクスクリーン印刷から最新の大判インクジェットプリンターおよび付帯の裁断、縫製加工設備まですべての工程を自社内で完結することができます。展示会、イベントにおけるタペストリーやのぼり等への需要がますます増えるなか、当社グループの既存事業と多くのシナジー効果を見込んでいます。



多種多様な布製品に対応しています

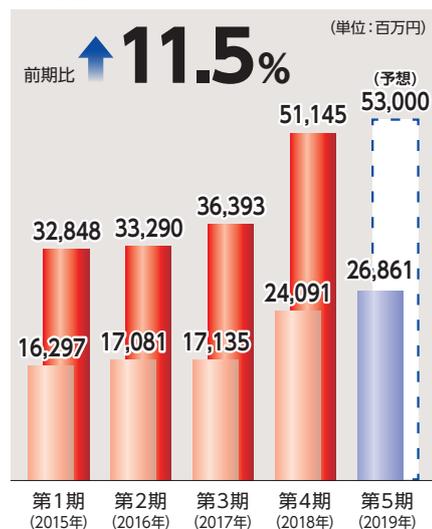
第7回 看板・ディスプレイEXPO 【夏】に出展

東京リスマチックは6月19日～21日の3日間、東京ビッグサイトで開催された第7回看板・ディスプレイEXPO【夏】に出展しました。「祭り」をテーマにした体験型ブースでジャイアントガチャや店舗什器などグループの商材をふんだんに紹介、幅広いアイテムのマッチングによる新たな魅せ方・アイデアをご提案しました。

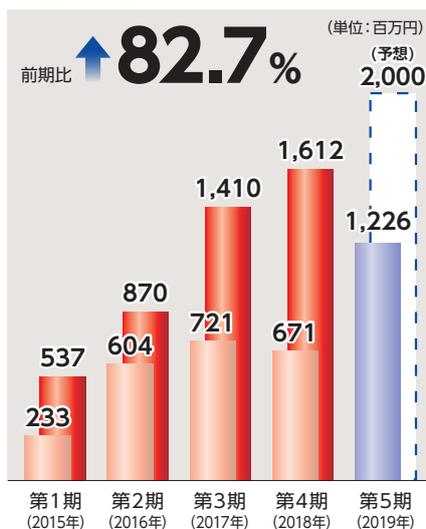


グラフ中、淡色で示した値は各期第2四半期の実績となります。

◆ 売上高



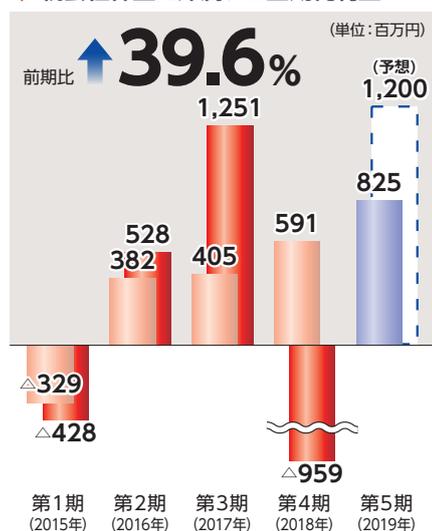
◆ 営業利益



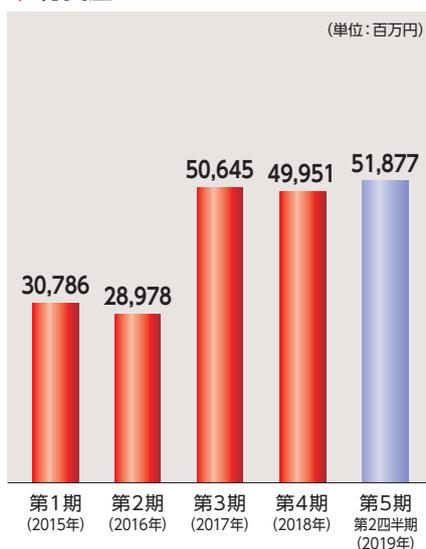
◆ 経常利益



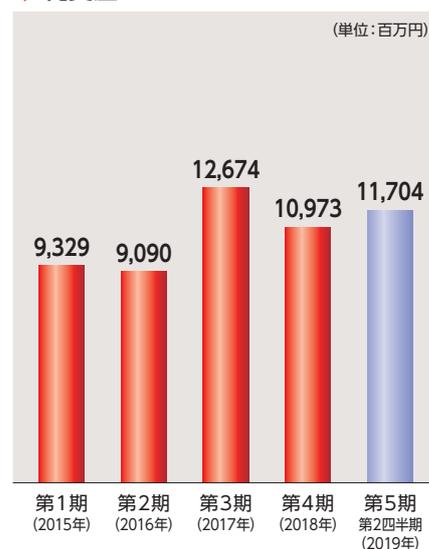
◆ 親会社株主に帰属する当期純利益



◆ 総資産

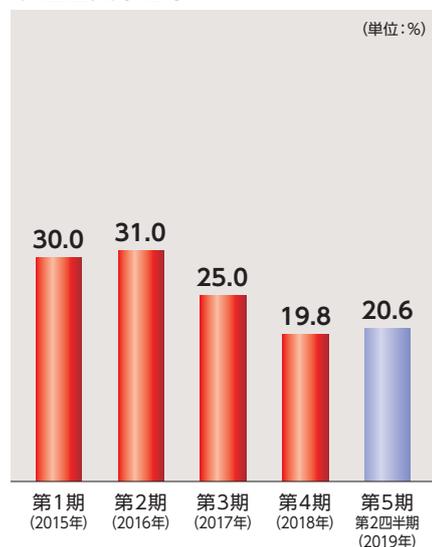


◆ 純資産

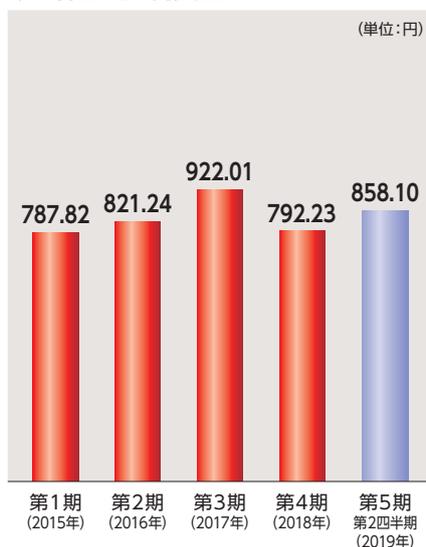


※ 第5期より、「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等の適用による表示方法の変更を行ったため、第4期の総資産については当該変更を反映した遡及修正を行っております。

◆ 自己資本比率



◆ 1株当たり純資産



◆ 従業員数



◆ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前 期		当 期		科目	前 期		当 期	
	2018年12月31日現在		2019年6月30日現在			2018年12月31日現在		2019年6月30日現在	
(資産の部)					(負債の部)				
流動資産	20,642		21,890		流動負債	27,432		29,572	
現金及び預金	5,558		6,785		買掛金	3,259		3,218	
受取手形及び売掛金	10,241		9,644		短期借入金	18,050		21,000	
電子記録債権	1,528		1,640		その他	6,122		5,354	
その他	3,313		3,819		固定負債	11,546		10,599	
固定資産	29,309		29,986		長期借入金	7,500		6,900	
有形固定資産	22,803		22,523		退職給付に係る負債	901		924	
建物及び構築物	6,510		6,566		その他	3,145		2,775	
機械装置及び運搬具	3,243		3,182		負債合計	38,978		40,172	
土地	12,378		12,398		(純資産の部)				
その他	670		375		株主資本	9,847		10,533	
無形固定資産	1,003		1,023		資本金	400		400	
のれん	83		145		資本剰余金	4,926		4,931	
その他	919		877		利益剰余金	5,800		6,543	
投資その他の資産	5,503		6,439		自己株式	△1,279		△1,341	
投資有価証券	3,061		3,873		その他の包括利益	62		134	
その他	2,441		2,565		累計額合計	1,063		1,036	
資産合計	49,951		51,877		非支配株主持分	1,063		1,036	
					純資産合計	10,973		11,704	
					負債及び純資産合計	49,951		51,877	

◆ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前 期		当 期	
	2018年1月1日から 2018年6月30日まで		2019年1月1日から 2019年6月30日まで	
売上高	24,091		26,861	
売上原価	17,071		19,031	
売上総利益	7,019		7,830	
販売費及び一般管理費	6,347		6,603	
営業利益	671		1,226	
営業外収益	175		321	
営業外費用	81		155	
経常利益	765		1,392	
特別利益	358		3	
特別損失	174		93	
税金等調整前四半期純利益	949		1,302	
法人税等	357		424	
非支配株主に帰属する当期純利益	0		52	
親会社株主に帰属する当期純利益	591		825	

◆ 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	前 期		当 期	
	2018年1月1日から 2018年6月30日まで		2019年1月1日から 2019年6月30日まで	
当期純利益	591		877	
その他有価証券評価差額金	△15		74	
退職給付に係る調整額	△23		△0	
その他	0		△1	
その他の包括利益合計	△39		72	
包括利益	552		950	

◆ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前 期		当 期	
	2018年1月1日から 2018年6月30日まで		2019年1月1日から 2019年6月30日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,862		2,162	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,189		△2,372	
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,601		1,328	
現金及び現金同等物の増減額	2,273		1,117	
現金及び現金同等物の期首残高	6,663		5,550	
その他の増加額	-		110	
現金及び現金同等物の期末残高	8,937		6,778	

◆ 連結株主資本等変動計算書 (2019年1月1日から6月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純 資 産 計
	資 本 金	資 剰 余 金	本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	退 職 給 付 に 係 る 調 整 額 累 計 額		
当期首残高	400	4,926	5,800	△1,279	9,847	67	△3	△0	62	1,063	10,973
当期変動額											
剰余金の配当		△75	△82		△157						△157
親会社株主に帰属する当期純利益			825		825						825
自己株式の取得				△62	△62						△62
連結子会社による非連結子会社の合併に伴う増減		80			80						80
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-	73	△1	△0	72	△27	44
当期変動額合計	-	5	743	△62	686	73	△1	△0	72	△27	731
当期末残高	400	4,931	6,543	△1,341	10,533	140	△5	△0	134	1,036	11,704

■ 会社概要

商号	株式会社日本創発グループ
英文商号	JAPAN Creative Platform Group Co., Ltd.
事業内容	傘下グループ会社の経営管理およびそれに付帯する業務
設立年月日	2015年1月5日
本社所在地	〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6
資本金	400,000,000円
決算期	12月31日
会計監査人	PwCあらた有限責任監査法人
取引金融機関	みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行
連結従業員数	2,451名(2018.12.31時点) ※臨時雇用者は含まれておりません。
顧問弁護士	荒山國雄法律事務所

■ 役員

代表取締役社長	藤田 一郎
取締役	鈴木 隆一
取締役	寺澤 眞一
取締役	鈴木 俊郎
取締役	菊地 克二
取締役	林 基史
取締役 監査等委員	野沢 佳津夫(社外)
取締役 監査等委員	大塚 利百紀(社外)
取締役 監査等委員	寺田 正主(社外)
取締役 監査等委員	篠崎 祥子(社外)
取締役 監査等委員	菅波 希衣子(社外)

■ 株式情報

証券コード	7814
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式総数	13,817,934株
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行
決算期	12月31日
定時株主総会	3月

◆ グループ中核概念

Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと

Mission

ビジョンの実現に向けて、
日本創発グループがなすべきこと

Value

ビジョンとミッションの下、
日本創発グループが
お客さまや社会に提供する価値

We Craft Your Imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

チームワーク

お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、ベスト・パートナーとなることをめざします。そのためには、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

プロの真心と技

私たちは、
お客さまのご満足と成功を願う真心と、
それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

言い訳のない品質

納品物の品質はもとより、
企画段階からアフター・フォローまでのプロセスとスピードにおいても、
言い訳のない高い品質を実現します。

プラスαの追求

私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待を越える成果をお届けし、
その笑顔を拝見すること。もっとその笑顔に出会うため、私たちは自らを
鍛えながら、お客さまにとってのプラスαを追求し続けます。

我が事として

私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、お悩みや
お困り事に真正面から向き合います。そして、そのご満足を我が事として、
丁寧に、一所懸命に追求します。

多様性の底力

私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と会社が結びつき、
切磋琢磨している集団です。そこに息づく多様性、先進性、独創性を
いっそう発揮しながら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

新しいカタチ

私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力と先進デジタル
技術を駆使して、クライアントの想いを、今まで見たことのないカタチで
ターゲットの心に刻みつけていきます。

良き市民

私たちは、良き市民として、
お客さま、投資家、協力企業、業界、社員、さらには地域社会や環境に
対する責任を、誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金の配当の基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
公告方法	電子公告 URL: https://www.jcpg.co.jp/ ただし電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、
当社をご理解いただくためのさまざまな情報を提供しております。



URL <https://www.jcpg.co.jp/>

日本創発グループ

検索